



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月14日

上場会社名 ユーピーアール株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7065 URL <https://www.upr-net.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 酒田 義矢
 問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 市川 善教 TEL 03 (3593) 1728
 四半期報告書提出予定日 2021年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績（2020年9月1日～2021年2月28日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	6,314	1.5	300	△53.0	479	△37.8	297	△44.8
2020年8月期第2四半期	6,218	10.8	639	36.7	770	46.6	539	93.7

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 299百万円 (△41.4%) 2020年8月期第2四半期 510百万円 (78.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	38.90	—
2020年8月期第2四半期	70.47	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	19,083	6,943	36.3
2020年8月期	20,029	6,743	33.6

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 6,923百万円 2020年8月期 6,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	—	—	13.00	13.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年8月期の連結業績予想（2020年9月1日～2021年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,559	6.5	884	△22.0	1,116	△19.1	725	△26.3	94.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	7,660,000株	2020年8月期	7,660,000株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	372株	2020年8月期	344株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	7,659,643株	2020年8月期2Q	7,659,744株

(注) 当社は、2019年12月1日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数（四半期累計）」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響による国内外での経済活動の急速な落ち込みから、段階的な経済活動の再開等により持ち直しの動きを見せておりましたが、感染の再拡大と各国における制限措置の再開等もあり、景気回復のペースは鈍く、依然として非常に厳しい環境が続きました。

このような環境の中、当社グループは、当連結会計年度が初年度となる「中期経営計画2025」（2021年8月期から2025年8月期）に基づき、Social Sharing Supporterとして更なる成長を図るため「5つの事業（パレット・物流IoT・アシストスーツ・ICT・ビークルソリューション）の柱を育成」、「海外展開の加速」に対する取組を強化してまいりました。

当社グループは、業種、規模、地域などが様々に異なる幅広い顧客と取引しており、新型コロナウイルス感染症の当社グループ業績への影響はマイナスとプラスの両面ありました。マイナス面は、保管用のレンタルパレットにおいて、新型コロナウイルス感染症の影響の長期化に伴う生産調整期間の延長、コンテナ不足による輸入貨物の減少、及び中国の経済活動再開による輸出貨物の増加に起因する在庫の減少により一定の影響を受けたことや、営業活動の制限により新規顧客獲得数が減少する等影響を受けました。プラス面は、輸送用のレンタルパレットにおいて、コロナ禍における物流効率化の効果もあり、家庭紙メーカーの共同利用・共同回収や玄米輸送の取扱量が拡大しました。また、アクティブRFIDタグを搭載した「スマートパレット」を利用した取り組みにおいて、グリーン物流パートナーシップ会議「特別賞」を東レ株式会社と共同受賞するなど、パレット輸送を通じ持続可能な物流体系の構築に貢献しました。これらマイナス面とプラス面を総合し、当社グループ事業へのマイナスの影響を最小限に抑えました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は6,314百万円（対前年同四半期比1.5%増加）、営業利益は300百万円（対前年同四半期比53.0%減少）、経常利益は479百万円（対前年同四半期比37.8%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は297百万円（対前年同四半期比44.8%減少）となりました。

各セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(物流事業)

トラックドライバーの高齢化や人手不足が引き続き深刻化しており、次期総合物流施策大綱においても、労働力不足対策と物流構造改革の推進（担い手にやさしい物流）などが提言されるなど、各企業の物流に対する関心は引き続き高く、トラックドライバーの長時間労働の削減に繋がる輸送用レンタルパレットの需要は高い水準で推移し、当社のレンタルパレットを活用した家庭紙メーカーの共同利用・共同回収も取扱量が拡大しました。一方、一部の業種において生産調整や海外からの輸入減少等により在庫が減少した影響で、保管用のレンタルパレットは一部で需要が減少している状況は続きました。海外事業は概ね計画通り推移しました。物流IoT事業は、医薬品等の高付加価値商品輸送（GDP）で貢献しました。アシストスーツ事業では、サポートジャケットシリーズの販売は順調に推移し、株式会社ビックカメラで「サポートジャケットBb+FIT」の販売を開始するなど、新しい販売チャンネルも開拓しました。一方で1月以降出展した展示会では、来場者数が軒並み前年の半分以下になりましたが、オンライン体験会の開催により新規顧客との接触機会を確保しました。

以上の結果、物流事業では、売上高5,887百万円（対前年同四半期比1.9%増加）、セグメント利益907百万円（対前年同四半期比22.4%減少）となりました。

(コネクティッド事業)

遠隔監視ソリューションにおいては、駐車場や工場設備等の遠隔監視に係る機器販売及び利用料が引き続き堅調に推移しました。また、工場設備等の遠隔監視サービスやHACCPにおいては、株式会社グリムスパワーとの協業や株式会社モンテローザ傘下の飲食店全店への「UPR HACCP」導入など、新規案件を受注しました。カーシェアリングシステムのレンタル及び販売については、緊急事態宣言下での移動制限の影響を受けながらも、概ね顧客の増車計画に沿って計画通り推移しました。

以上の結果、コネクティッド事業では売上高427百万円（対前年同四半期比2.8%減少）、セグメント損失8百万円（前年同四半期はセグメント利益28百万円）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は5,066百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,039百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が951百万円減少したこと及びその他流動資産が143百万円減少したことによるものであります。固定資産は14,016百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が208百万円増加した一方で、投資その他の資産が103百万円減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は19,083百万円となり、前連結会計年度末に比べ946百万円減少いたしました。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は4,545百万円となり、前連結会計年度末に比べ387百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が1,000百万円増加した一方で、買掛金が1,099百万円減少したこと、及び未払法人税等が202百万円減少したことによるものであります。また固定負債は7,594百万円となり、前連結会計年度末に比べ758百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が787百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は12,140百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,145百万円減少いたしました。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は6,943百万円となり、前連結会計年度末に比べ199百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ962百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末には2,695百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1,413百万円（前年同四半期は1,510百万円の収入）となりました。収入の主な要因としては減価償却費1,262百万円及び税金等調整前四半期純利益471百万円等、支出の主な要因としては法人税等の支払額324百万円等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2,496百万円（前年同四半期は1,881百万円の支出）となりました。支出の主な要因としては有形固定資産の取得による支出2,559百万円及び無形固定資産の取得による支出62百万円、収入の主な要因としては保険積立金の解約による収入160百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られた資金は116百万円（前年同四半期は235百万円の収入）となりました。支出の主な要因としては長期借入金の返済による支出784百万円及び配当金の支払額99百万円等、収入の主な要因としては短期借入れによる収入1,000百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2020年10月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づいて作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,658,116	2,706,423
受取手形及び売掛金	1,727,076	1,670,440
電子記録債権	136,350	118,744
商品	202,300	335,862
原材料及び貯蔵品	25,993	22,484
その他	359,512	215,585
貸倒引当金	△3,765	△2,963
流動資産合計	6,105,584	5,066,576
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産（純額）	10,627,165	10,455,872
その他（純額）	2,263,573	2,643,376
有形固定資産合計	12,890,739	13,099,249
無形固定資産	346,117	333,718
投資その他の資産		
その他	698,706	595,531
貸倒引当金	△11,950	△11,950
投資その他の資産合計	686,756	583,581
固定資産合計	13,923,613	14,016,548
資産合計	20,029,198	19,083,125

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,420,777	1,320,942
短期借入金	—	1,000,000
1年内返済予定の長期借入金	1,575,312	1,578,646
未払法人税等	314,636	111,686
賞与引当金	242,228	184,574
役員賞与引当金	—	21,338
その他	380,344	328,753
流動負債合計	4,933,298	4,545,941
固定負債		
長期借入金	7,636,146	6,848,490
役員退職慰労引当金	487,568	506,314
退職給付に係る負債	212,269	221,881
資産除去債務	14,941	15,150
その他	1,584	2,332
固定負債合計	8,352,508	7,594,168
負債合計	13,285,807	12,140,110
純資産の部		
株主資本		
資本金	96,000	96,000
資本剰余金	391,349	391,349
利益剰余金	6,247,517	6,445,921
自己株式	△495	△600
株主資本合計	6,734,371	6,932,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,765	3,435
為替換算調整勘定	△12,693	△13,038
その他の包括利益累計額合計	△10,927	△9,603
非支配株主持分	19,947	19,947
純資産合計	6,743,391	6,943,015
負債純資産合計	20,029,198	19,083,125

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2020年2月29日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2021年2月28日）
売上高	6,218,939	6,314,972
売上原価	3,859,530	4,272,175
売上総利益	2,359,408	2,042,796
販売費及び一般管理費	1,719,800	1,741,977
営業利益	639,607	300,819
営業外収益		
受取利息及び配当金	2,075	29
受取補償金	97,985	95,160
保険解約返戻金	—	75,057
その他	48,463	30,365
営業外収益合計	148,524	200,612
営業外費用		
支払利息	16,671	20,986
その他	963	1,080
営業外費用合計	17,634	22,066
経常利益	770,497	479,365
特別利益		
固定資産売却益	2,704	1
投資有価証券売却益	66,724	—
特別利益合計	69,429	1
特別損失		
固定資産除却損	49	7,670
特別損失合計	49	7,670
税金等調整前四半期純利益	839,877	471,696
法人税、住民税及び事業税	262,447	120,702
法人税等調整額	37,625	53,014
法人税等合計	300,073	173,716
四半期純利益	539,804	297,980
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	539,804	297,980

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	539,804	297,980
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△29,458	1,670
為替換算調整勘定	75	△345
その他の包括利益合計	△29,383	1,324
四半期包括利益	510,421	299,304
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	510,421	299,304
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年9月1日 至 2020年2月29日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年9月1日 至 2021年2月28日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	839,877	471,696
減価償却費	1,093,429	1,262,006
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△7,699	△803
賞与引当金の増減額（△は減少）	△48,566	△57,654
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	20,222	21,338
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	38,289	18,746
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	23,042	9,612
受取利息及び受取配当金	△2,075	△29
保険解約返戻金	—	△75,057
支払利息	16,671	20,986
固定資産売却損益（△は益）	△2,704	△1
投資有価証券売却損益（△は益）	△66,724	—
固定資産除却損	49	7,670
売上債権の増減額（△は増加）	△6,158	77,025
たな卸資産の増減額（△は増加）	△29,190	△132,826
仕入債務の増減額（△は減少）	60,357	79,608
未払又は未収消費税等の増減額	130,878	53,239
その他	△314,651	2,520
小計	1,745,046	1,758,080
利息及び配当金の受取額	888	46
利息の支払額	△16,585	△21,056
法人税等の支払額	△228,011	△324,642
法人税等の還付額	9,403	958
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,510,741	1,413,385
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,003,795	△2,559,369
有形固定資産の売却による収入	3,098	1
無形固定資産の取得による支出	△89,723	△62,053
投資有価証券の取得による支出	△209	△10,000
投資有価証券の売却による収入	219,769	4,020
定期預金の預入による支出	—	△10,404
保険積立金の解約による収入	—	160,517
その他	△10,269	△18,762
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,881,130	△2,496,049
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	2,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△1,698,112	△784,322
自己株式の取得による支出	△151	△105
配当金の支払額	△61,234	△99,343
その他	△4,636	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	235,866	116,229
現金及び現金同等物に係る換算差額	4,763	4,107
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△129,758	△962,328
現金及び現金同等物の期首残高	3,023,321	3,658,116
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,893,563	2,695,788

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 2019年9月1日 至 2020年2月29日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,779,456	439,482	6,218,939	—	6,218,939
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,779,456	439,482	6,218,939	—	6,218,939
セグメント利益	1,168,435	28,156	1,196,591	△426,093	770,497

(注) 1. セグメント利益の調整額△426,093千円には、セグメント間取引消去△123千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△425,970千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 2020年9月1日 至 2021年2月28日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	物流事業	コネクティッド 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,887,856	427,116	6,314,972	—	6,314,972
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	5,887,856	427,116	6,314,972	—	6,314,972
セグメント利益又は 損失(△)	907,257	△8,956	898,301	△418,935	479,365

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△418,935千円には、セグメント間取引消去5千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△418,941千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費並びに営業外損益であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。